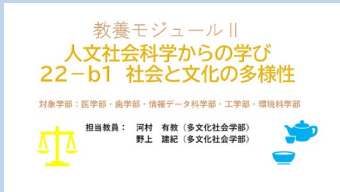


教養モジュール科目案内

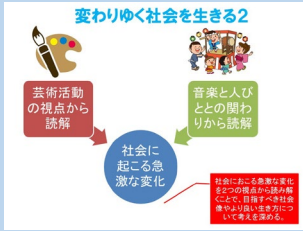
カテゴリー	人文社会科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュールⅡ
テーマ名	22-b1 社会と文化の多様性		
対象学部	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	河村 有教	責任部局	多文化社会学部
趣旨	<p>グローバル化が広く進展している現在、われわれはこれまで以上に「世界を知る」必要に迫られている。そして、このことは必然的に「日本（と日本人）」を知ることをわれわれに求める。なぜなら、他者を理解するためにはまず、自らが何者かという問いに深く思いを巡らさなければならないからである。</p> <p>本モジュールでは、日本、アジア、ヨーロッパ、世界といった空間軸の間で視野を柔軟に調整しつつ、歴史、文化、社会、法（法律）、交流などの視点から日本と世界を考察することによって、多様な他者と同時に多様な自己をも理解することをめざす。そこからグローバル化にともなっている様々な多文化状況に適応する素養と思考力を身につけることが本モジュールの教育目標である。</p>		
学生の皆さんへのメッセージ	<p>グローバル化が急速に進むなかで、われわれは社会的・文化的に多様性を持つ様々な組織の一員として生活し、働くこととなります。「世界を知り、日本を知る」ことは「他者を理解し、自己を省みると同時に相対化する」ことに繋がる知的な営みであり、またそうした多文化状況で生きていく上で必要不可欠な能力でもあります。本モジュールを受講することで是非そのような力を身につけてください。</p>	説明動画	

科目名	担当者名	概要	キーワード
法と人権の多様性	河村 有教	法とは何か、人権とは何か、各国の法や人権の違いについて学習する。この科目では、日本法や日本の裁判例（とりわけ刑事法や刑事裁判例）を切り口として、諸外国における「法」の多様性、「人権」の多様性、法解釈の多様性について、また、諸外国や国際社会からみた「法」や「人権」についての日本の特徴について学習する。	法と人権、法学、刑事法、ヨーロッパ近代法、日本法、国際法、法のグローバル化
陶磁器からみた文化の多様性	野上 建紀	陶磁器という物質資料を通して動態するアジアの文化の多様性を理解する。考古学はモノを通して、人類の過去の文化社会を復元する学問である。考古資料の中でも陶磁器は、遺跡から大量に出土する上、食文化をはじめとした文化が反映されやすい。この科目では陶磁器の歴史を辿りながら、反映された文化や社会の多様性について考える。	陶磁器、考古学、物質文化、近世のグローバル化

教養モジュールの目標および授業編成の視点との対応	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	※授業編成の視点	
	知識・技能	主体性	情報リテラシー	論理的組み立て	批判的検討	倫理観	多様性の理解	協働性	考える力	関心	A	B
法と人権の多様性	◎			◎	○	○	◎		○	○		◎
陶磁器からみた文化の多様性	◎				○		◎			○	◎	
◎（特に重視）の数	2	0	0	1	0	0	2	0	0	0	1	1
○（重視）の数	0	0	0	0	2	1	0	0	1	2	0	0

※工学部・水産学部に係る JABEE 項目

教養モジュール科目案内


カテゴリー	人文社会科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュールII
テーマ名	22-b2 変わり行く社会を生きる2		
対象学部	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	西田 治	責任部局	教育学部
趣 旨	社会の変化は、これまで私たちが経験したことのない速さで、かつ大規模に進んでいます。本モジュールでは、私たちの身近に起こっている社会の変化を、芸術活動、音楽という2つの視点から紐解いていきます。そして、変化する社会の中でいかに生きるか、また将来目指すべき社会の姿よりよく生きる自分の姿について考えます。		
学生の皆さんへのメッセージ	<p>今の社会、ひいては将来の社会の姿を作っているのは、私たち一人ひとりです。しかしその私たち一人一人は異なる意識や視点、経験を持っています。そうした“個”を意識するとともに、社会という“集団”の中で対応する力をつけるべく、本モジュールでは、私たちが生きる社会の変化について学び、これからの社会の在り方について考える機会にしましょう。</p> <p><u>※2022年度の第1クォーターに開講される選択科目「音表現とグループ・プロセス」を履修した学生は、授業内容が重複するため、このテーマを選択することはできません。</u></p>	説明動画	

科目名	担当者名	概要	キーワード
芸術活動と社会	北村 史	現代アートシーンにおいて、地域社会・文化を踏まえ、人々を巻き込む形で実施されるアート・プロジェクトが近年盛んである。それらについて実例を読み解きながら芸術と社会とのつながりを考察する。また、長崎の地域性、歴史、文化を反映したアート・ワークショップのアイデアを受講者と共に考え、つくっていく。	アート・プロジェクト、アート・ワークショップ
音楽と社会	西田 治	音・音楽と人間の関わりがどうであるかについて、参与型音楽、サウンドスケープ、音楽療法、持続可能な社会の4つの視点を切り口として考察していく。体験的な内容を含むが、受講者の音楽の得意・不得意は全く問わない。	音楽、サウンドスケープ、音楽療法、持続可能な社会

教養モジュールの目標および授業編成の視点との対応	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	※授業編成の視点	
	知識・技能	主体性	情報リテラシー	論理的組み立て	批判的検討	倫理観	多様性の理解	協働性	考える力	国際・地域社会への関心	A	B
芸術活動と社会		◎			○	◎		○	◎	◎	◎	
音楽と社会		◎			◎			◎	◎	◎	○	○
◎（特に重視）の数	0	2	0	0	1	1	0	1	2	2	1	0
○（重視）の数	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1

※工学部・水産学部に係る JABEE 項目

教養モジュール科目案内

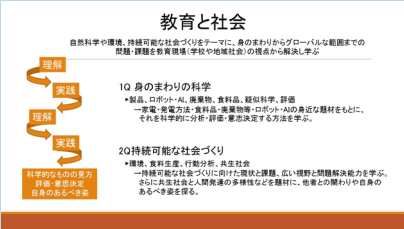
カテゴリー	人文社会科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュールⅡ
テーマ名	22-b3 文化と自然		
対象学部	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	大平 晃久	責任部局	教育学部
趣 旨	21 世紀のグローバル社会を生きる人々は、多様な文化に触れる機会が多くなります。本モジュールでは、「言語」と「数」というもっとも基本的な領域から、人間と社会を考察します。		
学生の皆さんへのメッセージ	特定の知識や観点到に偏らず、ものごとに対する広範な知識と、それを考察するための批判的・論理的な思考法を身につけ、現代を生きる教養人をめざしてください。	説明動画	

科目名	担当者名	概要	キーワード
日本語と社会	前田 桂子 大平 晃久	前半では、現代において進みつつある文法変化や意味変化、方言と共通語など日本語の諸問題について取り上げ、考察する。また後半では、言語と空間・地域にかかわるさまざまな問題を考察する。	現代語、文法、流行語、方言、地名、環境認知、多文化化
数と自然	島袋 修	ものごとを論理的に考察・推論するための数理的な手法を学ぶ。	数学、論証

教養モジュールの目標および授業編成の視点との対応	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	※授業編成の視点		
	知識・技能	主体性	情報リテラシー	論理的組み立て	批判的検討	倫理観	多様性の理解	協働性	考えるやり取りする力	関心	国際・地域社会への	A	B
日本語と社会	○	○	◎	○	◎		○	◎		◎		◎	◎
数と自然	◎	◎	○	◎	◎		○		○				
◎(特に重視)の数	1	1	1	1	2	0	0	1	0	1		1	1
○(重視)の数	1	1	1	1	0	0	2	0	1	0		0	0

※工学部・水産学部に係る JABEE 項目

教養モジュール科目案内

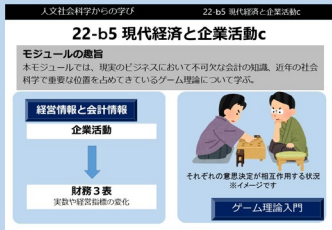
カテゴリー	人文社会科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュールⅡ
テーマ名	22-b4 教育と社会		
対象学部	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	鎌田 英一郎	責任部局	教育学部
趣 旨	<p>今までもそしてこれからも、みなさんは「教育」と何らかの形で関わりを持っています。しかしながら、「教育」とはそもそも何なのか、わたしたちはどのような仕組みの中で教育を受けているのか、考えたことがあるという人は少ないのではないのでしょうか。また目まぐるしく変化する「社会」の中で私たちはどのようにその変化に対応し、持続可能な社会をつくる一員として過ごしていかなければならないのでしょうか。モジュール「教育と社会」では、自然科学や環境、持続可能な社会づくりをテーマに、身のまわりからグローバルな範囲までの問題・課題を教育現場（学校や地域社会）の視点から解決し学んでゆきます。</p>		
学生の皆さんへのメッセージ	<p>教員免許の取得を考えている方を主とし、その他広く「教育」に関心のある方も選択可能です。高等学校までの教科書の枠組みや理系・文系に制限されない内容で構成しています。教育そのものや、諸分野と教育との関わりについて深く考えたり、他の学生たちと議論を交わしたりしてみたいという方は選択してください。グループディスカッションや調査結果の発表など、考えを交流する機会があります。ある事象について多角的に、また多面的に考えるためにも皆さんの積極的な関りを期待しています。</p>		
	<p style="text-align: center;">説明動画</p> <div style="text-align: center;">  <p>教育と社会</p> <p>自然科学や環境、持続可能な社会づくりをテーマに、身のまわりからグローバルな範囲までの問題・課題を教育現場・学校や地域社会の視点から解決し学ぶ。</p> <p>10身のまわりの科学 ・製品、ロボット・AI、農業科、食料品、疑似科学、評価 ・家電・発電方法・廃棄物等・ロボット・AIの身近な題材をもとに、それを科学的に分析・評価・意志決定する方法を学ぶ。</p> <p>20持続可能な社会づくり ・環境、食料生産、行動分析、共生社会 ・持続可能な社会づくりに向けた現状と課題、広い視野と問題解決能力を学ぶ。さらに共生社会と乳幼児期からの人間発達の多様性などを題材に、他者との関わりや自身のありべき姿を探る。</p> </div>		

科目名	担当者名	概要	キーワード
身のまわりの科学	武藤 浩一 藤本 登 及川 大地	ひとは生きていくために毎日多くの食品・製品(資源)やサービスを消費するが、持続可能な社会の構築のためには、その食品・製品や制度について、環境性・安全性等の視点から評価・活用できる能力が求められる。ここでは、食品・家電・発電方法・廃棄物等の身近な題材をもとに、それを科学的に分析・評価・意志決定する方法を学ぶ。	製品 (地域) 資源 廃棄物 食品 疑似科学 評価
持続可能な社会づくり	鎌田 英一郎 石川 衣紀 高橋 甲介 宮津 寿美香	ここでは、食料生産や環境といった身近な事象を取り上げ、持続可能な社会づくりに向けた現状と課題、広い視野と問題解決能力を学ぶ。さらに共生社会と乳幼児期からの人間発達の多様性などを題材に、他者との関わりや自身のありべき姿を探る。	食料生産 環境 行動分析学 共生社会 多様性の尊重 発達

教養モジュールの 目標および授業編成 の視点との対応											※授業編成の視点	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	A	B
	知識・技能	主体性	情報リテラシー	論理的組み立て	批判的検討	倫理観	多様性の理解	協働性	考えるやり取りする力	関心	国際・地域社会への	取り扱う 人文科学の内容を
身のまわりの科学	◎	○	◎	◎	◎	○	○	○	◎	○	○	◎
持続可能な社会づくり	◎	◎	◎	○	○	○	◎	○	○	◎	○	◎
◎ (特に重視) の数	2	1	2	1	1	0	1	0	1	1	0	2
○ (重視) の数	0	1	0	1	1	2	1	2	1	1	2	0

※工学部・水産学部に係る JABEE 項目

教養モジュール科目案内

カテゴリー	人文社会科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュールⅡ
テーマ名	22-b5 現代経済と企業活動 c		
対象学部	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	小野 哲	責任部局	経済学部
趣 旨	現代社会の安定と繁栄は、限られた資源を有効に活用し生活水準を維持発展させる仕組みとしての経済活動のもとに成立している。こうした経済の仕組みを、その原理や制度、歴史的変遷など幅広い観点から考察することにより、複眼的で幅広い視点を獲得することを目的とする。本モジュールの履修により、経済学や経営学の基本的分野の学習をすることが可能となる。		
学生の皆さんへのメッセージ	前提知識はとくに問わないが、経済や企業について広い関心を持ち、これらの分野の基礎知識の習得意欲を持つ者、自発的・積極的に学習を進めていく姿勢のある者の受講を希望する。また、新聞やネットに掲載される日々の経済や経営に関するニュースに耳を傾ける努力を怠らないようにしなければならない。	説明動画	

科目名	担当者名	概 要	キーワード
経営情報と会計情報	小野 哲	現実のビジネスにおいて会計の知識は不可欠である。この授業では、まず財務3表の基本的な内容を理解することを出発点とする。つぎに経営指標などの知識を習得し、実際の企業のデータを用いてベーシックな分析を行うことで、どのようにして企業の経営内容を診断するかについて学ぶ。	財務3表 経営指標 財務諸表分析
ゲーム理論入門	吉沢 裕典	経済学のみならず、経営学、政治学、社会学、法学といった社会科学全般や心理学、哲学、倫理学といった人文科学、生物学、物理学、計算機科学、工学といった自然科学でも研究され応用されているゲーム理論の基本的な考え方を学ぶ。	ゲーム理論 静学ゲーム 動学ゲーム

教養モジュールの 目標および授業編成 の視点との対応	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	※授業編成の視点		
	知識・技能	主体性	情報リテラシー	論理的組み立て	批判的検討	倫理観	多様性の理解	協働性	考えるやり取りする力	関心	国際・地域社会への	A	B
ゲーム理論入門	◎	○	○	◎	○				○			○	◎
経営情報と会計情報	◎	○	◎	◎	○	○	○	◎	◎	○		○	◎
◎（特に重視）の数	2	0	1	2	0	0	0	1	1	0		0	2
○（重視）の数	0	2	1	0	2	1	1	0	1	1		2	0

※工学部・水産学部に係る JABEE 項目

教養モジュール科目案内


カテゴリー	人文社会科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュールⅡ
テーマ名	22-b6 現代経済と企業活動 d		
対象学部	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	南森 茂太	責任部局	経済学部
趣 旨	現代社会の安定と繁栄は、限られた資源を有効に活用し生活水準を維持発展させる仕組みとしての経済活動のもとに成立している。こうした経済の仕組みを、その原理や制度、歴史の変遷、国や地域間の比較など幅広い観点から考察することにより、複眼的で幅広い視点を獲得することを目的とする。本モジュールの履修により、経済学の体系に沿って統一的に学ぶことが可能となる。		
学生の皆さんへのメッセージ	<p>前提知識はとくに問わない。経済や企業について広く関心を持ち、先人や他者から謙虚に学び、自主的に学習を進める意欲をもった学生の受講を希望する。また、日々の新聞やニュースを見たり読んだりすることが、社会現象の観察眼・批判的思考力を向上させる機会となることを念頭に受講しなければならない。</p>	説明動画	

科目名	担当者名	概要	キーワード
国際社会と日本経済	南森 茂太	近世、そして近代において日本人が国際社会の中の日本をどのように位置づけようとしてきたのかを理解する。	市場経済 経済思想
企業経営の仕組み	辺見 英貴	本科目では、企業の形態や機能を理解することや、企業を取りまく環境や地域との関わりのなかでダイナミックに企業を捉えながら理解する。	企業組織の構造 日本的経営 社会的責任

教養モジュールの 目標および授業編成 の視点との対応	① 知識・技能	② 主体性	③ 情報リテラシー	④ 論理的組み立て	⑤ 批判的検討	⑥ 倫理観	⑦ 多様性の理解	⑧ 協働性	⑨ 考えをやり取りする力	⑩ 国際・地域社会への 関心	※授業編成の視点	
											A	B
											取り扱う	取り扱う
国際社会と日本経済	◎	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
企業経営の仕組み	◎	◎	○	○	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	◎
◎（特に重視）の数	2	1	0	1	2	0	2	1	2	2	2	2
○（重視）の数	0	1	2	1	0	2	0	1	0	0	0	0

※工学部・水産学部に係る JABEE 項目

教養モジュール科目案内

カテゴリー	人文社会科学からの学び	モジュール科目区分	教養モジュールⅡ
テーマ名	22-b7 日本文化史と現代の核問題 (英語開講)		
対象学部	医学部医学科・医学部保健学科・歯学部・情報データ科学部・工学部・環境科学部		
テーマ責任者	中村 桂子	責任部局	グローバル連携機構
趣 旨	<p>私たちの住む長崎は、日本と西洋の交流の窓口として非常にユニークな歴史を誇っています。なかでも北ヨーロッパの中心国の一つとして栄えてきたオランダとの交流は江戸初期から現在まで 400 年以上にわたって続き、日本文化の発展にさまざまな影響を与えてきました。また、長崎は世界で 2 番目の原爆の惨禍を経験した地でもあります。核の非人道性を知る被爆地からの訴えは、核兵器禁止と廃絶に向けた国際規範の形成において重要な役割を果たしてきました。このモジュールでは、ローカルとグローバルの視点を繋ぎながら、日本と世界が向き合うさまざまな課題について考えを深めていきます。</p>		
学生の皆さんへのメッセージ	<p>長崎大学ならではの特色を活かした、まさにオンラインの科目となります。国際経験豊かな講師陣とともに、楽しくディスカッションしていきましょう。英語に自信のある人もちょっと尻込みしてしまう人も、コミュニケーション力を鍛える場として最適です。</p> <p>※このテーマの科目はすべて英語で授業が実施されます。 テーマを選択した後に、2年生の途中でテーマを変更することはできませんので、ご注意ください。</p>	説明動画	

科 目 名	担当者名	概 要	キーワード
Toward a Nuclear Weapon-Free World	中村 桂子	核兵器をめぐる世界の動きや日本の立ち位置を俯瞰的にとらえるとともに、私たち一人ひとりと核兵器問題との繋がりを考えていきます。	核軍縮、核不拡散、市民社会、平和・軍縮教育
Introduction to Japanese Culture and History	山下 龍	この講義では、日本の文化や社会を理解するために不可欠な明治末期までの歴史的な知識を楽しく学ぶことができます。	日本史・日本文化史・日本文化

教養モジュールの目標および授業編成の視点との対応											※授業編成の視点	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	A	B
	知識・技能	主体性	情報リテラシー	論理的組み立て	批判的検討	倫理観	多様性の理解	協働性	考えるやり取りする力	関心	国際・地域社会への	取り扱う 人文科学の内容を
Toward a Nuclear Weapon-Free World	○	◎	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎	○	◎
Introduction to Japanese Culture and History	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	○	◎	◎	◎	○
◎ (特に重視) の数	1	2	2	2	0	0	1	0	2	2	1	1
○ (重視) の数	1	0	0	0	2	2	1	2	0	0	1	1

※工学部・水産学部に係る JABEE 項目